

医学部 医学科 ディプロマ・ポリシー

【知識・理解】

- ・医学に関する幅広い専門知識を身につけている。
- ・医療人の基盤となる高い教養を身につけている。

〔専門分野に関する知識〕

1. 基礎医学の基本的知識を修得している。
2. 臨床医学の基本的知識を修得している。
3. 社会医学の基本的知識を修得している。
4. 健康増進および疾病予防に関する知識を修得している。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 医学の基礎となる自然科学系分野の知識を修得している。
2. 生命倫理について理解している。
3. 行動科学について理解している。
4. 基本的な英語力を修得している。

【思考・判断】

- ・異なる分野の医学知識を横断的に活用することができる。
- ・自ら探求すべき課題を見つけ、問題解決に取り組むことができる。

〔論理的思考力〕

1. 基礎医学、臨床医学および社会医学の知識を水平的、垂直的に統合して応用できる。
2. 科学的根拠に基づき、分析的、批判的に思考できる。
3. 基礎医学、臨床医学および社会医学の課題について、論理的に解析、評価することができる。

〔課題探求力〕

1. 学修の場および医療現場で自ら探求すべき課題を見つけることができる。
2. 学修の場および医療現場で積極的に問題解決に取り組むことができる。

【技能・表現】

- ・基本的診療能力（コミュニケーション、診察、処置）を身につけ、医療チームの一員としての役割を意識した行動ができる。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 基本的な医学専門用語を理解し、使うことができる。
2. ICT（Information and Communication Technology）を利用した情報収集と情報発信ができる。

3. 収集した情報を適切な方法を用いて処理できる。
4. 患者の個人情報の保護に配慮し、適切に管理することができる。
5. 基本的な医学英語を理解し、使うことができる。

〔表現力〕

1. 自分の考えを論理的かつ明確に表現することができる。
2. 診療に関わる内容を適切な文章で表現することができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 患者および家族との適切なコミュニケーションをとることができる。
2. 医療チームの中で適切なコミュニケーションをとることができる。

〔技能〕

1. 基本的な診療技能を修得している。

【関心・意欲・態度】

- ・安心・安全な医療に関心を持ち、実践することができる。
- ・医師の社会的使命を遂行し地域医療に貢献する意欲を持っている。
- ・人間性豊かで倫理感と責任感に富む人格を身につけている。
- ・社会人としての常識と感性を身につけている。

〔協働実践力〕

1. 臨床実習をとおしてチーム医療を理解している。
2. 臨床実習をとおして地域医療を理解し、その問題点を把握することができる。
3. 医療チームの一員としての役割を認識し、多職種と協働できる。

〔自律力〕

1. 知識、技術および幅広いプロフェッショナルリズム領域にわたる継続的な自己研鑽の習慣を身につけている。

〔倫理観〕

1. 医療倫理・研究倫理の原則に従って行動することができる。
2. 医療関連法に則り行動することができる。
3. 医療安全に配慮して行動することができる。
4. 医師のプロフェッショナルリズムに基づいて行動することができる。

【統合・働きかけ】

- ・異なる分野にまたがる知識を統合し、基礎医学、臨床医学および社会医学の研究や課題解決に取り組む姿勢を身につけている。

医学部 看護学科 ディプロマ・ポリシー

【知識・理解】

- ・看護の基盤となる幅広い教養を身につけている。
- ・看護に必要な基本的な知識を体系的に修得している。

〔専門分野に関する知識〕

1. 医療・看護の観点から人の健康を総合的に理解し、個別の事例について説明することができる。
2. 看護の実践においてその科学的・社会的根拠を理解し、説明することができる。

〔人類の文化・社会・自然に関する知識〕

1. 人を取り巻く環境と、健康との関連を説明することができる。
2. 保健医療福祉制度における看護の社会的役割・機能・連携について理解し、説明することができる。

【思考・判断】

- ・人々の健康や生活でおこる様々な問題を看護の視点で捉えることができる。
- ・看護の専門知識を用いて、問題解決に向けての解釈・判断ができる。

〔論理的思考力〕

1. 科学的・社会的根拠に基づいた看護を思考できる。
2. 看護の対象となる人々の背景を分析することができる。

〔課題探求力〕

1. 看護実践方法の改善策を提案することができる。
2. 社会の動向をふまえて看護の役割や課題を追究することができる。

【技能・表現】

- ・対象者や場に応じた基本的な看護実践能力を身につけ、使うことができる。

〔語学・情報に関するリテラシー〕

1. 必要な情報を収集、整理し、活用することができる。
2. 看護学を学ぶ上で必要となる基本的な英語を修得している。

〔表現力〕

1. 実施する看護の方法について看護の対象となる人々に合わせた説明ができる。
2. チームの中でメンバーの考えを受容しつつ、積極的に自身の考えを伝えることができる。

〔コミュニケーション力〕

1. 看護の対象となる人々と援助的なコミュニケーションを展開できる。
2. 看護の対象となる人々に真摯に接し、信頼関係を形成することができる。

【関心・意欲・態度】

- ・ 人間・環境・健康・看護に関心を持ち、知的好奇心を高めることができる。
- ・ 医療・保健・教育の進歩に対応できるよう、自律して学び続ける姿勢を身につけている。
- ・ 個々の特性をつかみながら、チームを統合することができる。

〔協働実践力〕

1. チーム医療において看護と多職種との協働・連携の重要性について説明することができる。
2. ヘルスケアチームメンバーとの協力関係を築き、看護ケアを実践することができる。

〔自律力〕

1. 生涯にわたり継続して専門性を向上させる努力ができる。
2. 対象者やチームに対して、責任ある行動がとれる。

〔倫理観〕

1. 生命倫理・看護倫理・職業倫理について理解し、専門職として倫理綱領に基づいた行動がとれる。
2. 看護の対象となる人々の尊厳と権利を尊重した行動がとれる。

【統合・働きかけ】

- ・ 看護の目標を達成するために必要な資源を利用し、多職種と協働して活動することができる。
- ・ 看護の対象となる人の状況・背景に応じて、看護実践が展開できる。